

2款 1項 6目 企画費

政策企画調整事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 89 ページ

予算現額	12,440,000 円		決算額	11,137,664 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	1,302,336 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			1,551,401 円	地方債	
	増減額			9,586,263 円	その他	
	増減率	617.91%	一般財源	11,137,664 円		

<目的>

長期的なまちづくりの方針、将来像、その実現の手段、プロセスを総合的、体系的に示す市政運営の根幹となる狭山市総合計画の策定、管理及び運営を行います。

<内容>

全庁的な課題の調整及び企画を行います。また、第4次狭山市総合計画前期基本計画に掲げられた施策を計画的かつ効果的に推進するための実施計画を策定するとともに、第4次狭山市総合計画後期基本計画を策定します。

<実績・成果等>

1 第4次狭山市総合計画実施計画の作成に係る総合調整を行いました。

- (1) 狭山市総合計画策定委員会の開催
令和元年8月21日(水)、9月25日(水)、令和2年1月22日(水)
- (2) 狭山市総合計画審議会の開催
令和2年2月12日(水)

2 第4次狭山市総合計画後期基本計画の策定に向けて、コンサルタントに策定支援業務を委託して、市民意識調査などの基礎調査を実施するとともに市民会議を開催し、調査結果や提言を踏まえて計画案の検討を行いました。

- (1) 狭山市総合計画策定委員会の開催
令和元年6月27日(木)、9月25日(水)、令和2年1月22日(水)
- (2) 狭山市総合計画審議会の開催
令和元年8月6日(火)、令和2年2月12日(水)
- (3) 市民意識調査の実施
令和元年9月24日(火)から10月8日(火)
- (4) 職員アンケートの実施
令和元年10月17日(木)から10月31日(木)
- (5) 総合計画検討委員会 部会の開催
令和元年10月31日(木)から令和2年3月19日(木)
- (6) 後期基本計画策定市民会議の開催
令和元年11月20日(水)、12月13日(金)、令和2年1月8日(水)、1月31日(金)

3 「夢をかなえるプロジェクト」

子どもたちの健全な成長を支援するとともに、郷土愛の醸成を図る事業として、「夢をかなえるプロジェクト」を実施しました。

本年度は、狭山市立南小学校 PTA から提案のあった企画を採用し、全校児童がオリジナルキャンドルを制作しました。また、児童が制作したキャンドルを使用してキャンドルアートの点灯式を実施しました。

企画名称	学校の開校 50 周年をお祝いするキャンドルアートをみんなで作りたい！
実施日	(1)オリジナルキャンドルの制作 令和元年 10 月 24 日（木）、10 月 28 日（月） (2)キャンドルアート点灯式 令和元年 11 月 8 日（金）
実施場所	狭山市立南小学校
参加対象	狭山市立南小学校 全児童
実施内容	(1)全児童を対象としたキャンドル制作教室の実施 (2)児童が制作したキャンドルを使用したキャンドルアートの点灯式の実施

2款 1項 6目 企画費

魅力づくり事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 89 ページ

予算現額	184,000 円		決算額	70,040 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	113,960 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			30,000 円	地 方 債	
	増減額			40,040 円	そ の 他	
	増減率	133.47%	一 般 財 源	70,040 円		

<目的>

市内4大学と締結した包括的連携協定に基づき、広く「まちづくり」において協働を推進することで活力ある地域社会の形成・発展につながる施策に取り組みます。

<内容>

大学生の視点を市政に取り入れ、若い世代を呼び込むことを目的に、市内4大学と連携した事業を実施します。また、活力ある地域社会の形成・発展に必要な人材の育成を手がけるため、学生向けの講演会（研修会）を実施します。

<実績・成果等>

- 西武文理大学の学生と、学生が選んだ映画の上映を通じて、映画文化に触れる機会の創出を目的としたイベント「サヤマ de シネマ」を実施しました。

事業名称 サヤマ de シネマ vol.3

実施日 令和元年9月21日（土）、22日（日）

開催場所 狭山市市民会館小ホール

実施内容 東京国際映画祭で上映された作品の中から、学生が選んだ4作品を上映

- 東京家政大学の学生と、東日本大震災の復興支援イベント「第9回イナリヤマフェスタ」に参加し、防災についての知識を楽しく学べる「防災カフェ」を実施しました。

事業名称 東京家政大学「防災カフェ」

実施日 令和元年10月6日（日）

開催場所 狭山稲荷山公園

実施内容 東京家政大学のオリジナル「防災カルタ」の体験会、避難生活時の効果的な運動方法について学ぶワークショップ、被災地への義援金の寄附を目的としたチャリティー販売

- 武蔵野学院大学と武蔵野短期大学の学生と、ふるさと納税の寄附者を対象とした「入間航空祭パーク&ライド」を実施しました。

事業名称 入間航空祭パーク&ライド

実施日 令和元年11月3日（祝）

申込件数 89件（当日来場者78組240人）

実施内容 大学の特設駐車場から入間航空祭入場門に隣接する稲荷山環境センターまでの送迎、学生による湯茶接待

- 市内4大学の学生の能力向上を目的とした講演会、ワークショップを全2回実施しました。

事業名称 大学生スキルUP講演会

(1)実施日 令和元年7月2日（火）

講師 伊藤 能孝 氏（サンルートプラザ東京 宿泊サービス部 部長）

講演内容 ホテルにおけるおもてなしの観点から、社会人として必要な心構えやスキルを学ぶ

(2)実施日 令和元年12月3日（火）

講師 小林 美穂 氏（狭山市ビジネスサポートセンター センター長）

林 泰一 氏（狭山市ビジネスサポートセンター プロジェクトマネージャー）

講演内容 「就職」をテーマに、ワークショップを通じて自身の強みを見つけるとともに、企業に選ばれるために必要な心構えやスキルを学ぶ

2款 1項 6目 企画費

行財政改革推進事業

(行政経営課)

決算事項別明細書 89 ページ

予算現額	4,733,000 円		決算額	4,560,145 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	172,855 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,813,743 円	地 方 債	
	増減額			1,746,402 円	そ の 他	
	増減率	62.07%	一 般 財 源	4,560,145 円		

<目的>

少子・超高齢化と人口減少社会の進展や、地方分権による権限移譲が図られる中で、益々多様化する行政課題や市民ニーズに対応し、安全で良質な行政サービスを確実に市民に提供していくために、引き続き行財政改革に取り組み、効率的かつ効果的で、財政的にも健全な行財政運営を推進することを目的とします。

<内容>

行政資源に限られる中で、市民一人ひとりが満足できるような質の高い行政サービスを提供し続けていくため、経営感覚を意識したコストと成果重視の絶え間ない行財政改革を推進するものです。

<実績・成果等>

1 行財政改革推進委員会の開催

行財政改革指針に基づく取組みの具体的実施項目の実施結果について報告し、課題等についての意見を聴取しました。

また、SWOT分析の手法を活用した行政評価の実施結果を報告し、効率的かつ効果的な事務事業の推進が図られるよう、行財政改革推進委員会による市民の視点に立った外部評価を実施するとともに、次年度の外部評価のあり方等についての意見を聴取しました。

- (1) 行財政改革推進委員会委員報酬 288,000 円 (日額 7,200 円)
- (2) 委員会開催回数 5 回

2 情報政策官の任用

限られた経営資源の中で市民サービスの向上と効率的な行政運営の推進にあたり、情報化に関する専門的な識見を有する情報政策官を任用し、電子自治体の構築に向けた取組みの充実を図るために、行政情報システムの最適化を進めるとともに、最新の情報通信技術の導入、ICT を活用した危機管理体制の構築、効率的・効果的な行政経営の推進等に関して必要な助言等を受けました。

情報政策官報酬 4,200,000 円 (月額 350,000 円 × 12 カ月)

3 職員提案の募集

市民サービスの向上や効率的かつ効果的な行財政運営に向けて、市政に関する施策の企画立案や事務事業の改善等について、広く職員からの提案を求めました。

(1) 令和元年度 提案件数等

提案区分	提案件数	審査結果	
職務改善提案	4 件	銀賞 1 件	銅賞 3 件
自由提案	9 件	銅賞 3 件	奨励賞 2 件

(2) 職員提案ほう賞 23,000 円

(内訳) 銀賞 5,000 円分図書カード × 1 件 = 5,000 円

銅賞 3,000 円分図書カード × 6 件 = 18,000 円 ※ ほう賞は銅賞以上

2款 1項 6目 企画費

平和意識高揚事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 89 ページ

予算現額	426,000 円		決算額	291,690 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	134,310 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	207,227 円	一 般 財 源	地 方 債	
	増減額	84,463 円		そ の 他	
	増減率	40.76%			291,690 円

<目的>

講演会や啓発活動を通じて、市民の平和に対する意識の高揚を図ります。

<内容>

市内の小中学生を対象に、戦争体験者の語り部による講演会を実施することで、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝え、子どもたちの平和意識の高揚を図ります。

また、狭山市平和都市宣言 30 周年事業として、平和関連資料の特別展示や平和学習バスツアー等を実施します。

<実績・成果等>

- 1 市内公立小中学校で戦争体験者の語り部による「平和を願う講演会」を開催しました。

開催実績 小学校 13 校、中学校 7 校

- 2 本庁舎の掲揚塔に当市が平和宣言都市であることを周知する懸垂幕を掲揚しました。また、本年度から狭山市市民交流センターの北側壁面にも懸垂幕を掲揚しました。

掲揚期間 本庁舎 令和元年 8 月 1 日 (木) から 8 月 30 日 (金)
狭山市市民交流センター 令和元年 12 月 12 日 (木) から 12 月 27 日 (金)

- 3 中央公民館で平和関連資料の特別展示を実施しました。

実施期間 令和元年 8 月 6 日 (火) から 8 月 12 日 (祝)
場 所 中央公民館 調理実習室
実施内容 (1)原爆の図 原寸大複製画の展示
(2)戦時中の実物資料、写真パネルの展示
(3)児童向け平和アニメーションの上映

- 4 市内在住の小中学生を対象とした平和学習バスツアーを実施しました。

実 施 日 令和元年 10 月 27 日 (日)
訪問場所 (1)埼玉ピースミュージアム (埼玉県平和資料館)
(2)原爆の図丸木美術館
対 象 狭山市在住の小学生及び中学生とその保護者
参 加 者 25 名

2款 1項 6目 企画費

埼玉県西部地域まちづくり計画（ダイアプラン）推進事業

（政策企画課）

決算事項別明細書 89 ページ

予算現額	404,000 円		決算額	402,210 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,790 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			413,990 円	地 方 債	
	増減額			△11,780 円	そ の 他	
	増減率	△2.85%	一 般 財 源	402,210 円		

<目的>

構成市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）に共通する行政課題の解決に向けて広域行政を推進するとともに、圏域市民間の交流の促進を図り、豊かで魅力あふれる都市圏の創造を目指します。

<内容>

構成市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）が連携して、共通する行政課題の解決や公共施設の相互利用などに取り組むとともに、イベントなどの開催により市民交流の促進し、豊かで魅力あふれる都市圏の創造に向けて計画を推進します。

<実績・成果等>

1 構成市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市及び日高市）の公の施設の相互利用を実施し、効率的かつ効果的な市民サービスを提供しました。

(1) 文化・福祉施設（図書館を除く）

構成市（狭山市を除く）の施設を利用した狭山市民の数 延べ 23,733 人

狭山市の施設を利用した構成市（狭山市を除く）市民の数 延べ 197,814 人

(2) 体育・公園施設

構成市（狭山市を除く）の施設を利用した狭山市民の数 延べ 43,566 人

狭山市の施設を利用した構成市（狭山市を除く）市民の数 延べ 115,219 人

(3) 図書館

構成市（狭山市を除く）の施設を利用した狭山市民の数 延べ 21,829 人

狭山市の施設を利用した構成市（狭山市を除く）市民の数 延べ 17,284 人

2 構成市に共通する行政課題を検討する専門部会（清掃部会、図書館部会、地域情報化部会、男女共同参画部会、広域行政研究部会、環境部会、観光部会、公共交通部会）を開催しました。

2款 1項 6目 企画費

公共建築物等再編統合事業

(行政経営課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	130,000 円		決算額	119,556 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	10,444 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	7,941,231 円		地 方 債	
	増減額	△7,821,675 円		そ の 他	
	増減率	△98.49%	一 般 財 源	119,556 円	

<目的>

今後、人口減少等により公共施設等の利用需要の変化が予想されることを踏まえ、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現します。

<内容>

公共施設の再編を計画的に行うため、「狭山市公共施設等総合管理計画」の計画期間 40 年を概ね 10 年毎に 4 期に分け、公共施設マネジメントを実施する具体的な行動計画として策定した「狭山市公共施設再編計画」に基づき、公共施設の再編と保全の統括マネジメントを推進します。

<実績・成果等>

狭山市公共施設再編計画の目的に基づくより具体的な行動計画である個別施設計画の策定をすすめました。また、公共施設の管理運営に係る職員の意識向上を図ることを目的に、外部講師を招聘して「公共施設マネジメント研修会」を実施しました。

研修会テーマ：公共施設の「質」と「量」 参加人数 65 人

さいたま市で開催された市町村アセットマネジメント推進会議と、公共施設等総合管理計画の実践的な取組について詳細な検討を行うため推進会議内に設置されたアセットマネジメント実践検討部会等に参加しました。

埼玉県市町村アセットマネジメント推進会議 延べ参加人数 2人
埼玉県市町村アセットマネジメント実践検討部会 延べ参加人数 5人

- | | | |
|---|----------------------------|-----------|
| 1 | 講師謝礼金（公共施設マネジメント研修会の講師謝礼金） | 100,000 円 |
| 2 | 旅費 | 19,556 円 |

2 款 1 項 6 目 企 画 費

親元同居・近居支援事業（総合戦略事業）

（政策企画課）

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	28,000,000 円		決算額	25,700,000 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	2,300,000 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			23,756,000 円	地方債	
	増減額			1,944,000 円	その他	
	増減率	8.18%	一般財源	25,700,000 円		

<目的>

若い世代の移住・定住を促進し、あわせて子育て・介護等の共助を推進します。

<内容>

市内に居住する親世帯と同居又は近居するために、市内に住宅を新築、購入又は増改築して居住する子世帯に対し、掛かる費用の一部を補助します。また、15歳未満の子を3人以上養育する世帯と、住宅の新築、購入又は増改築に当たり、市内業者と契約した世帯は補助金を上乘せします。

<実績・成果等>

補助金交付件数は 61 件で、これに伴う転入者は 183 人であり、内訳は近隣市からの転入が 28 件（46 パーセント）、県内他市町村からの転入が 6 件（10 パーセント）、県外からの転入が 27 件（44 パーセント）でした。

交付決定	61 件	
内訳	購入	15
	新築	44
	増改築	2
	同居	3
	近居	58
加算要件	市内業者	11
	18歳未満の子3人以上養育	3
補助金交付決定額	25,700 千円	

転入者数(世帯数/世帯員数)	61 世帯	183 人
川越市	5	13
所沢市	13	40
飯能市	3	10
入間市	7	23
埼玉県内他市町村	6	18
県外	27	79

2款 1項 6目 企画費

婚活支援事業（総合戦略事業）

（政策企画課）

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額		630,000 円		決算額		536,326 円	
翌年度繰越額				決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額		93,674 円				県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	454,000 円				地 方 債	
	増減額	82,326 円				そ の 他	
	増減率	18.13%		一 般 財 源		536,326 円	

<目的>

若い世代の婚活を支援することで、結婚の希望を叶えるとともに、市内への就労や移住、定住のきっかけをつくります。

<内容>

自分らしい結婚や家庭生活の実現に対する意識を醸成するためのライフデザインと、異性とのコミュニケーション力を高めるセミナーを開催するとともに、婚活イベントを開催し出会いの場を提供します。また、埼玉県が主体となって広域的、総合的に婚活を支援する SAITAMA 出会いサポートセンター運営協議会に加入し、市民に SAITAMA 出会いサポートセンターの利用を促します。

<実績・成果等>

1 11月23日（祝）に、西武鉄道新型特急「Laview」を活用した婚活イベントを実施しました。

- (1) 事業名称 “Laview で恋する” さやまコン
- (2) 実施日 令和元年11月23日（祝）
- (3) 開催場所 西武鉄道新型特急「Laview」
- (4) 参加者数 33人（男性：18人、女性：15人）
- (5) 実施内容 〔第1部〕ライフデザインセミナー
〔第2部〕婚活パーティー
- (6) 結 果 カップル成立6組（カップリング率：36.4パーセント）

2 本年度から SAITAMA 出会いサポートセンター運営協議会に加入し、市民に SAITAMA 出会いサポートセンターの利用を促しました。

- (1) 狭山市内に在住又は在勤の登録者 57人
- (2) 狭山市内に在住又は在勤の成婚者 3人

2款 1項 6目 企画費

総合戦略推進事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	882,000 円		決算額	232,644 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	649,356 円			県支出金		
前年度 比 較	決算額			2,311,892 円	地方債	
	増減額			△2,079,248 円	その他	
	増減率	△89.94%	一般財源	232,644 円		

<目的>

狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた基本目標（安定した雇用を創出する、新しいひとの流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、時代に合った地域をつくり安心なくらしを守る、元気な健康高齢社会をつくる）を実現するほか、喫緊の政策課題に対処します。

<内容>

狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた基本目標を実現するため、各種施策を計画的かつ効果的に推進します。

<実績・成果等>

- 1 狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理と意見聴取を行いました。

狭山市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催
令和元年7月23日（火）、令和2年1月31日（金）

2款 1項 6目 企画費

東京オリンピック・パラリンピック推進事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 91 ページ

予算現額	15,591,000 円		決算額	12,478,163 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	3,112,837 円			県 支 出 金	6,212,000 円
前 年 度 比 較	決算額	7,972,640 円	一 般 財 源	地 方 債	
	増減額	4,505,523 円		そ の 他	
	増減率	56.51%			6,266,163 円

<目的>

東京 2020 大会に向けて、機運醸成や大会への市民参画を推進する取組を進め、開催会場である狭山市におけるレガシーを創出します。

<内容>

東京 2020 大会の円滑な運営と成功に向けて関係機関や市民等と協働して機運醸成に取り組むとともに、市としてのレガシー創出に向けて各種競技体験や小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の機会を提供します。

<実績・成果等>

1 大会開催 1 年前を契機としたイベントを実施しました。

(1) # T shot SAYAMA 2019 ～東京 2020 オリンピック 開催まであと 1 年！～

実施日 令和元年 8 月 3 日 (土)

開催場所 狭山市市民交流センター 1 階エントランスホール、コミュニティホール

来場者数 1,500 人以上

実施内容 東京 2020 オリンピックマスコットによる記念撮影等、ラグビーなどのステージパフォーマンス、ゴルフ競技体験、東京五輪音頭-2020-、都市ボランティア事前研修

(2) 「あすチャレ！運動会」～東京 2020 パラリンピック 開催まであと 1 年！～

実施日 令和元年 9 月 22 日 (日)、23 日 (祝)

開催場所 狭山市民総合体育館 アリーナ

参加者数 217 人

実施内容 ボッチャ・車いすポートボール・車いすリレーの 3 競技を用いたチーム対抗の運動会、バスケットボール競技用車いす体験

2 小中学校においてアスリートによるオリンピック、パラリンピック特別授業を実施しました。

(1) JOC オリンピック教室 (オリンピック出場アスリートによる座学と運動から成る特別授業)

実施校 西中学校、堀兼中学校、中央中学校、山王中学校 (全 4 校)

※平成 30 年度に 3 中学校実施済み。令和 2 年度に実施予定の柏原中学校を除く全中学校で実施完了

(2) あすチャレ！スクール (パラリンピック出場アスリートによる競技体験を主体とした特別授業)

実施校 笹井小学校、入間川小学校、水富小学校、御狩場小学校、入間野小学校、広瀬小学校、奥富小学校 (全 7 校)

※平成 30 年度に 8 小学校実施済み。令和元年度で全小学校での実施完了

3 祝祭感演出を目的としたシティドレッシングを実施しました。

設置場所 ①狭山市駅東口ロータリー内バス乗降場

②狭山市役所庁舎内エレベーター扉及び 1 階エントランスホール

2款 1項 8目 人権推進費

人権施策推進事業

(政策企画課)

決算事項別明細書 93 ページ

予算現額	2,860,000 円		決算額	2,458,928 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	401,072 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	302,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			2,585,835 円	地 方 債	
	増減額			△126,907 円	そ の 他	
	増減率	△4.91%	一 般 財 源	2,156,928 円		

<目的>

様々な機会を通じて同和問題をはじめとした人権問題に対する理解を促進し、人権意識の高揚を図るとともに、人権尊重に対する理解を深めます。併せて、人権尊重の意識が定着するよう啓発活動を推進し、人権を尊重しながら共に生きる社会の実現を目指します。

<内容>

同和問題をはじめとして、女性、性的少数者、子ども、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、様々な機会を通じて啓発活動を推進します。

また、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

<実績・成果等>

- 1 差別や偏見のない心の通じ合う明るい社会を実現するため、同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図ることを目的とし、教育委員会、所沢人権啓発活動地域ネットワーク協議会との共催により、人権問題講演会を開催しました。

実施日 令和2年1月22日(水)
 講師 大前 光市 氏(義足のプロダンサー)
 講演内容 トーク&パフォーマンス ～ 誰にでも輝ける場所がある ～
 参加者 240人

- 2 当市を含む13市町で構成する入間郡市同和対策協議会では、人権が尊重され、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる社会を実現するため、一人ひとりが日常生活における様々な問題を人権の視点で見つめ、お互いを尊重し合えるよう、広く地域住民を対象に、第17回入間郡市人権フェスティバルを坂戸市文化会館で開催しました。

実施日 令和元年11月19日(火)
 講師 ダニエル・カール 氏(タレント、山形弁研究者)
 講演内容 がんばっぺ オラの大好きな日本 ～ 未来へつなぐ家族・地域の絆 ～
 参加者 660人

- 3 啓発用品を作成し、狭山市人権問題講演会をはじめ啓発関連事業の際に受講者に配布するとともに、人権問題啓発DVDを購入し、利用の促進を図り、市民に対する人権意識の普及高揚に努めました。

- 4 人権啓発事業の一環として、人権パネル展を開催しました。

令和元年 8月16日(金) から 8月29日(木) 入曽公民館 入場者数:延べ 850人
 令和2年 2月 3日(月) から 2月13日(木) 奥富公民館 入場者数:延べ 373人

2 款 1 項 9 目 基地対策費

基地関連要望活動事業

(基地対策課)

決算事項別明細書 93 ページ

予算現額	10,000 円		決算額	988 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	9,012 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額	988 円	そ の 他		
	増減率	皆増	一 般 財 源	988 円	

<目的>

防衛省等の関係機関は、入間基地に関わる地域の声を聴く機会が限られていることから、要望活動等を通じて地域の実情等への理解を促し、障害の解消・改善を図ります。

<内容>

防衛省や入間基地に対して、周辺市民の生活環境の改善を求める要望書を提出します。また、航空機騒音等で日常、市民から寄せられる意見や要望を迅速に基地に伝え、障害の解消・改善を求めます。

<実績・成果等>

全国組織である全国基地協議会及び防衛施設周辺整備全国協議会並びに基地関連の県組織である埼玉県基地対策協議会、更には入間基地周辺の市民で組織した狭山市基地対策協議会等において、政府関係機関に要望活動を実施しました。

<<本年度要望活動実績>>

年月日	要望事項	要望主体	要望先
令和元年 7月2日	基地交付金等に関する個別要望事項	全国基地協議会	防衛省、総務省、財務省
	防衛施設周辺整備対策に関する個別要望事項	防衛施設周辺整備全国協議会	防衛省、総務省、財務省
令和元年 8月8日	基地対策に関する要望書	埼玉県基地対策協議会	防衛省 北関東防衛局ほか
令和元年 10月11日	入間航空祭における航空機の安全飛行の徹底について(要望)	狭山市 狭山市基地対策協議会	航空自衛隊入間基地
令和元年 10月24日	航空自衛隊入間基地に関わる周辺住民の生活環境の改善について	狭山市基地対策協議会	北関東防衛局 航空自衛隊入間基地
令和2年 2月3日	小中学校の公式行事の際における飛行訓練等の中止について(要望)	狭山市、狭山市議会、 狭山市議会基地対策特別委員会	航空自衛隊入間基地

<<参考 狭山市議会・狭山市議会基地対策特別委員会の要望活動実績>>

令和元年 8月7日	航空自衛隊入間基地に関わる市民の生活環境の改善について	狭山市議会 狭山市議会基地対策特別委員会	北関東防衛局 航空自衛隊入間基地
令和元年 10月16日	入間航空祭における航空機の安全飛行の徹底について	狭山市議会 狭山市議会基地対策特別委員会	航空自衛隊入間基地

2 款 1 項 9 目 基地対策費

基地関連障害対策事業

(基地対策課)

決算事項別明細書 95 ページ

予算現額	18,710,000 円		決算額	16,015,550 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	9,500,000 円	
不用額	2,694,450 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			35,755,578 円	地方債	
	増減額			△19,740,028 円	その他	
	増減率	△55.21%	一般財源	6,515,550 円		

<目的>

入間基地に関わる様々な問題等の解決に向け、防衛省等の関係機関との調整を図り、障害の防止、軽減を図るための事業を実施することで、基地周辺の市民の生活環境の向上を目指します。

<内容>

基地周辺の市民の生活環境の向上や地域活動の安定を図るため、防衛省との調整・交渉を行うとともに、事業所管部における公共施設の防音及び冷暖房工事、道路改修、公園整備等が計画的に実施できるよう支援します。

<実績・成果等>

1 防衛省補助事業等

(1) 障害防止事業関係

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(環境整備法)第3条第2項の補助事業として、68,091,000 円の補助金を受け、柏原小学校防音補助事業を実施し、騒音対策を推進しました。

(2) 民生安定事業関係

環境整備法第8条の補助事業として、312,350,000 円の補助金を受け、無線放送施設設置助成事業、入間飛行場周辺コミュニティ併用施設設置助成事業を実施しました。

(3) 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業関係

環境整備法第9条の交付金事業として、130,776,000 円の交付金を受け、共同受信施設更新事業、入曽地区地域交流施設(仮称)新築工事(外構工事)整備事業、防災備蓄倉庫購入事業、消防ポンプ自動車購入事業、市道幹第32号線外1線改良舗装事業、市道幹第57号線改良舗装事業、道路維持作業車購入事業、小学生学習支援事業を実施するとともに、予防接種助成事業については基金への積立を行いました。

(4) 防音事業関連維持事業関係

環境整備法第3条第2項等の補助事業により整備した施設のうち小中学校及び保育所の合計8施設について、電気料金4,900,294 円に対し、2,904,000 円の補助金を受けました。

2 基地関連障害対策事業

(1) 電波障害対策として整備した共同受信施設の中で、鋼管柱46本を撤去し、付随するケーブルを更新しました。

共同受信施設諸工事費	12,100,000 円 (国庫支出金 9,500,000 円)
共同受信施設更新設計積算業務委託料	106,842 円
共同受信施設更新工事監理業務委託料	3,630,000 円

(2) 緊急を要する共同受信施設の鋼管柱等移設工事を1件実施しました。

共同受信施設諸工事費	178,708 円
------------	-----------

2 款 1 項 1 0 目 電算管理費

情報システム管理事業

(情報政策課)

決算事項別明細書 95 ページ

予算現額	338,842,000 円		決算額	323,118,717 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	3,034,000 円	
不 用 額	15,723,283 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			301,085,551 円	地 方 債	
	増減額			22,033,166 円	そ の 他	
	増減率	7.32%	一 般 財 源	320,084,717 円		

<目的>

行政情報システムの安定的な運用を図り、システム、機器及びデータ等の管理を行います。

<内容>

総合窓口対応システムやパソコン等及びネットワークの管理を行います。また、行政情報システムの運用保守を行い、業務の安定的な運用を図ります。

<実績・成果等>

1 システム及び機器維持管理

個人番号事務系、LGWAN 系、インターネット系の各ネットワーク、公共施設予約システム等でのシステムトラブル対応やサーバーの稼働状況の解析を行いました。また、パソコン、プリンター、サーバー等の維持管理を行いました。

2 電子申請システム管理

電子自治体構築に向けて、平成 18 年 11 月から埼玉県市町村電子申請共同運営協議会に参加し、電子申請サービスを行っています。

3 セキュリティ対応

情報セキュリティ技術や個人情報の取り扱いに関する知識を取得することを目的とし、延べ 1,577 人の職員が地方公共団体情報システム機構主催の e ラーニングによる情報セキュリティ、個人番号制度に係る情報連携に向けた研修を受講しました。

4 総合窓口対応システム維持管理

総合窓口対応システムの維持管理を行いました。

5 社会保障・税番号制度対応

社会保障・税番号制度に係るシステム改修を行いました。

6 職員ポータルサイトの更新

旧システムの保守サービスが終了したことに伴い、次期システムへ更新を行いました。

7 RPA の導入

紙データの入力など単純作業に係る業務処理時間の短縮による職員の負担軽減や事務の効率化のほか、業務の正確性の確保を目的に、RPA の導入を行いました。

8 地方公共団体情報システム機構交付金

地方公共団体情報システム機構へ以下の事務を委任する費用です。

- ・個人番号制度の情報連携に係る情報提供ネットワークシステムの管理に関する事務
- ・次期情報提供ネットワークシステムの設計構築に関する事務（国庫支出金 3,034,000 円）

2 款 1 項 1 0 目 電算管理費

情報化推進事業

(情報政策課)

決算事項別明細書 95 ページ

予算現額	1,872,000 円		決算額	1,623,407 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	811,000 円	
不 用 額	248,593 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			836,357 円	地 方 債	
	増減額			787,050 円	そ の 他	
	増減率	94.10%	一 般 財 源	812,407 円		

<目的>

第 2 次狭山市情報化基本計画に基づいて、行政情報システムの全体最適化、地域情報化の推進、ICT ガバナンスの強化に取り組み、電子自治体の構築を進め、市民サービスの向上を図ります。

<内容>

行政情報システムの全体最適化、職員認証基盤などの内部情報システムの構築や個人情報データなどの管理強化を図ります。また、公共施設予約や行政手続きの電子申請などのサービスを推進し、電子自治体の構築を進め市民サービスの向上を図ります。

<実績・成果等>

1 マイナポイントの予約支援

令和元年 10 月の、消費税率引上げに伴う消費活性化策の一つである、マイナポイントの取得に必要なマイキーID の設定支援を利用者へ行いました。(国庫支出金 811,000 円)

2 情報化推進要員の育成

情報化推進要員の育成を計画的かつ効果的に行うため、延べ 11 人が各種研修会に参加しスキルアップを図りました。

※研修概要

研修タイトル	ストレージシステム基礎、LAN/WAN の構築実習・実践トレーニング、Windows Server2016 Hyper-V の管理、IoT 時代の無線 LAN ほか
--------	------------------------------------------------------------------------------------